

## 獨協大学英語教育研究会 (DUETA) ワークショップをオンラインにて開催

3月5日、獨協大学英語教育研究会 (DUETA) 主催の第11回ワークショップ (『指導と評価の一体化から考えるICTの活用と英語教育』) がオンラインにて開催された。講師は、有嶋宏一氏 (鹿児島県総合教育センター 研究主事、本学卒業生) が務め、およそ120名が参加した。参加者からは、「具体例を示していただき非常にわかりやすかった」「次年度から取り組むべき課題が明瞭になった」といった声が寄せられた。



詳しくはHPをご覧ください。

## 子どもたちを支援する自動販売機を設置

「子ども食堂」の運営団体「子ども応援団マイカ」を支援するために新たな自動販売機を、西棟や天野貞祐記念館など学内に計10台設置した。「子ども応援団マイカ」は地域の子どもや子育て中の保護者を支援する地域団体で、子ども食堂を通して、地域交流の「居場所」を作ることが目的に活動している。自動販売機の売上金の一部を「子ども応援団マイカ」に寄付し、地域貢献の一助とするとともに、本学のSDGs推進にも寄与するもの。



## クラブ・サークルが新入部員を募集中

獨協大学の29の文化会団体(部)、39の体育会団体(部)、42の愛好会団体(サークル)では、現在、新入部員を募集している。

各団体の情報は、以下から取得可能。

- 大学ホームページでどんな団体があるか調査  
トップページ▶学生生活▶クラブ・サークル
- 冊子『雄飛』で団体の活動を確認
- 獨協大学学友会新入生歓迎ページ (二次元コード) をチェック
- 学友会事務課 (学生センター3階) スタッフに相談



## 協定校からの留学生が2年ぶりにキャンパスへ

新型コロナウイルス感染症対策の入国制限緩和に伴い、協定校からの留学生18名が来日した。コロナ禍で留学生は、滞在国でのオンライン履修や、留学自体を延期せざるをえない状況が続いていたため、受入れは2年ぶりとなる。前年度秋学期から留学を継続しているバイエステ・バルセイス・ポルさん (バルセロナ自治大学) は「時差に苦労した半年だったが、ついに来日がなかった。日本での学生生活が楽しみだ」と語った。



来日したばかりの留学生とサポート学生

## 獨協大学 セミナーハウス (仮称) 建設工事の起工式を開催

3月24日、獨協大学セミナーハウス (仮称) 建設工事の起工式を執り行った。

式典には吉田謙一郎獨協学園理事長をはじめ、山路朝彦学長、設計・監理会社の株式会社石本建築事務所代表取締役社長、施工会社の清水建設株式会社常務執行役員関東支店長らが出席した。

山路朝彦学長は式典で「セミナーハウス (仮称) には、本学学生の新たな教育研究、課外活動の他、地域への貢献や交流の場としての役割を期待しています」と挨拶した。

当施設は、来年2023年1月に完成、4月の運用開始を予定している。



## オープンカレッジ特別講座 「世界を驚かせた北斎と『北斎漫画』」

3月26日、天野貞祐記念館大講堂にてオープンカレッジ特別講座を開催した。講師は73年に本学英語学科を卒業した浦上満氏 (浦上蒼穹堂代表) で、学生時代に蒐集を始めた『北斎漫画』は、現在では世界一のコレクションとして知られる。事前の申し込みにより抽選に通った210名が来場し、併用したオンライン配信では180名が受講した。

講座の終盤には質疑応答があり、北斎が改名と転居を繰り返した理由を推論するなど、熱心なやりとりが続いた。



葛飾北斎の画業を解説する浦上満氏